

## 評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	北海道大野記念病院	階数	地下1F,地上7F
建設地	札幌市西区宮の沢2条1丁目2-2地8筆	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域,準工業地域,近隣商業地域,準防火地域,指定なし	平均居住人員	1,200 人
気候区分	1地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2016年9月 予定	評価の実施日	2016年9月1日
敷地面積	12,118 m <sup>2</sup>	作成者	
建築面積	6,666 m <sup>2</sup>	確認日	2016年9月1日
延床面積	26,660 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.4** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 3.5

**Q1 室内環境** Q1のスコア = 3.6

**Q2 サービス性能** Q2のスコア = 3.7

**Q3 室外環境(敷地内)** Q3のスコア = 3.2

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.1

**LR1 エネルギー** LR1のスコア = 3.3

**LR2 資源・マテリアル** LR2のスコア = 3.2

**LR3 敷地外環境** LR3のスコア = 2.9

### 3 設計上の配慮事項

<p><b>総合</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●高度医療を内包する低層階: 画像診断、核医学、放射線治療部門及び手術ゾーンを集約的に配置して、機能及び形態として病院の「基壇」として位置付ける。</li> <li>●アイデンティティを表現する病棟階: スタッフの動線短縮に配慮した三角形形状を採用し、周辺環境からの離隔を確保するとともに視認性の高い外観(PCコンクリート外壁と横連窓サッシ)</li> <li>●周辺環境に配慮した高層階: 周辺の山・市街地を望む眺望レストラン・ホールの計画</li> </ul>		<p><b>A 省エネルギー</b></p> <p>トップライトの採用、自然風取り入れスリット等、自然エネルギーを取り入れる計画。全館LED照明の採用で省エネルギー化、雑用水に井水を利用することによりランニングコストの低減を図っている。また、コージェネレーション機器を2台導入し、発電時の排熱を有効利用する計画としている。</p>
<p><b>B 省資源等</b></p> <p>再生材料を使ったローコスト地盤改良材(オカサンド)の採用</p>	<p><b>C 緑化</b></p> <p>市民に開放できるよう、敷地前面道路側に高木~中木を多く集め、様々な樹種を植える計画</p>	<p><b>D 雪処理</b></p> <p>外部にロードヒーティングを敷設し、敷地外へ排雪はしない計画。メインアプローチにピロティを設け、落雪に配慮した計画。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される